

まいごのぼうし

1年 ねん ものがたり文 ぶん 16ばん

なまえ

つよいかぜで、そう
たのぼうしがとびまし
た。ぼうしはころころ
ころがって、川 かわのちか
くでとまりました。

そうたがおいかけ
と、知らない女 おんなの子 こが
さきにひろっていまし
た。

「これ、きみの？」
女 おんなの子 こは、ぼうしのす
なを手 てではらって、わ
たしてくれました。

「ありがとう。」そう
たは、小 ちいさなこえてい
いました。

かえりみち、そうた
はぼうしをぎゅっと
おさえながらおもいま
した。「こんどだれかの
ぼうしがとんだら、ぼ
くがひろおう。」

(1)「さきに」のいみにあうものをひとつえらび、きごう
に○をつけましょう。

ア そうたよりあとに
イ そうたよりはやく
ウ そうたといっしょに

(2)女 おんなの子 こは、ぼうしをわたすまえになにをしましたか。
ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア ぼうしのすなを手 てではらった
イ ぼうしをかぶってみた
ウ ぼうしを川 かわであらった

(3)ぼうしは、どこでとまりましたか。「で」のまえまで
を、ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4)ぼうしをわたしてもらったとき、そうたはどんなき
もちだったとおもいますか。かきましょう。

かきかたのヒント
そうたがいったことばを みてみよう。
「きもち。」でおわらせる。

まいごのぼうし

こたえ

1年 ものがたり文 16ばん

なまえ

つよいかぜで、そう
たのぼうしがとびまし
た。ぼうしはころころ
ころがって、川のちか
くでとまりました。

そうたがおいかけ
と、知らない女の子が
さきにひろっていまし
た。

「これ、きみの？」
女の子は、ぼうしのす
なを手ではらって、わ
たしてくれました。

「ありがとう。」そう
たは、小さなこえてい
いました。

かえりみち、そうた
はぼうしをぎゅっと
おさえながらおもいま
した。「こんどだれかの
ぼうしがとんだら、ぼ
くがひろおう。」

(1)「さきに」のいみにあうものをひとつえらび、きごう
に○をつけましょう。

ア そうたよりあとに

イ そうたよりはやく

ウ そうたといっしょに

(2) 女の子は、ぼうしをわたすまえになにをしました
か。ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア ぼうしのすなを手ではらった

イ ぼうしをかぶってみた

ウ ぼうしを川であらった

(3) ぼうしは、どこでとまりましたか。「で」のまえまで
を、ぶんしょうからかきぬきましょう。

川のちかく

(4) ぼうしをわたしてもらったとき、そうたはどんなき
もちだったとおもいますか。かきましょう。

(れい) うれしいきもち。

かきかたのヒント

そうたがいったことばを見てみよう。

「きもち。」でおわらせる。

解答・解説 まいごの ぼうし（1年・ものがたり文）

この話はフィクションです。実在の人物・団体とは関係ありません。

もん 問1 イ

二つ目の だんらくに「知らない 女おんなの子が さきに ひろって いました」と かいて あります。そうたがつく まえに、もう ひろって いたのです。

もん 問2 ア

三つ目の だんらくに「すなを 手てではらって、わたしてくれました」と かいて あります。

もん 問3 川の ちかく

一つ目の だんらくに「川かわの ちかくで とまりました」と かいて あります。

もん 問4 （れい）うれしい きもち。

そうたは「ありがとう。」と っています。うれしい、ほっと した などが かけて いれば ○です。